
宮崎県、物流ネットワーク戦略改定案に「客貨混載」

Edited By LogisticsToday On 2015/12/16

宮崎県は、2016年度から19年度までを対象とした県交通・物流ネットワーク戦略を改定する。

改定案では、人口減少の加速化を踏まえ、「路線バスを活用した宅配便の輸送（客貨混載）によるバス路線の維持と物流効率化」や、災害に強い交通・物流ネットワークの形成に配慮した「長距離フェリーの神戸就航と利用促進協議会の創設」を盛り込んだ。

9月に策定した「宮崎県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の内容を踏まえるほか、2016年春の東九州自動車道北九州・宮崎間の開通、国際航空路線の充実、港湾施設の整備など同県の交通、物流を取り巻く大きな環境の変化を反映させる。

同県では、宮崎交通とヤマト運輸は9月24日に路線バスで「宅急便」を輸送する「客貨混載」サービスを開始することを発表している。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/205093>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.